

## 泉中学校の統合先及び統合時期について

## 【 統合先及び統合時期の方針 (案) 】

- (1) 統合先 : 赤羽根中学校
- (2) 統合時期 : 平成33年度

## 【 経緯 (平成27年度からの状況) 】

平成27年度中に泉中学校の統合先を決定するとした方針の下、平成27年7月から泉中学校再編検討委員会での協議を重ねるとともに、福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会等を行なって議論を深めてきた。

また、平成27年度末に泉小PTAが各中学校再編についてアンケート調査を行っており、その結果も踏まえ学校再編の協議を進めてきた。

## 【 統合先等決定時期の方針変更 】

これまで、平成27年度中に統合先を決定するという方針で進めてきたが、保護者や検討委員会での意見、また泉小PTAのアンケート結果などにより、平成28年度中の早い時期に統合先と統合時期を決定することに方針を変更した。

## 【 理由 】

- ・ 検討委員会や保護者の意見で赤羽根中とする意見が多い
- ・ 統合時期については、伊良湖岬中と同時期に統合という意見もあるが、統合を急がなくても良い、慎重に考えたいとの意見も多い
- ・ 泉地域全体で考えると地勢的に近く地域的な結びつきがある
- ・ 市全体の中学校のバランスを考慮すると赤羽根中学校への統合が良い
- ・ 泉小学校PTAのアンケート結果では、赤羽根中学校とする意見が多く、時期については伊良湖岬中と同時期に統合という意見が多い
- ・ 泉小学校PTAのアンケート結果を尊重したい意見が多い

< 泉中学校及び赤羽根中学校の生徒数の見込 > (H28. 4. 1、5. 1 現在)

区分	3才	4才	5才	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
泉中 106人 生徒数 (学級数)	24	28	23	21	21	20	39	29	32	32 (1)	38 (1)	36 (1)
赤羽根中 153人 生徒数 (学級数)	52	43	47	42	66	45	47	49	41	55 (2)	51 (2)	47 (2)
統合後の赤羽根中 生徒数 (学級数)	76	71	70	63	H33年度 238人			—	—	—	—	—
					中1	中2	中3					
					87 (3)	65 (2)	86 (3)					

### 《これまでの経緯》

- 平成 25 年 8 月に「泉校区学校を考える会」が発足
  - ・平成 26 年 10 月までに 3 回の会議、校区全戸アンケート調査
- 平成 26 年 7 月に教育委員会が、保育園・小学校・中学校の保護者と意見交換会を実施
  - ・統合先を赤羽根中とする意見が多数、岬中と同時期に考えたい
- 平成 26 年 10 月に第 3 回「泉校区学校を考える会」を開催
  - ・泉中学校の再編は、岬中学校の統合と同時進行で方向性を決めていきたい。
  - ・校区から再編について教育委員会へ要望してはどうか。
  - ・教育委員会が再編の方向性を示したほうが、保護者が動きやすい。
  - ・全体配置計画をみてから考えたい。
- 平成 27 年 7 月に泉中学校再編検討委員会が発足
  - ・再編については統合を前提に検討
  - ・統合時期については伊良湖岬中と同じタイミングで考えたい

### 《理由及び問題点等》

- 統合時期については伊良湖岬中と同じタイミングで考えたい、渥美地域でひとつの中学校ということもあり、同じ中学校へ統合するなら伊良湖岬中と同じ時期に統合したい。
- 統合先・統合時期を早く決めて準備をしたい。
- 統合まで十分な周知期間・準備期間をとれる時期で統合を考えたい。
- H30 年度では、赤羽根中学校は受入れ側として早急なことで対応が難しい。  
また、統合先の地域のことも考慮すると、時間をかけて協議していく必要がある。
- あまりあわてずに、伊良湖岬中などの統合の状況を確認しながら慎重に準備をした方が良い。
- H33 年度の統合では、最高学年の 3 年生が多く赤羽根中と同じくらいであり、3 年生は部活・受験などナーバスな面があり、多くの同じくらいの人数で入っていく形が良い。
- 最高学年の 3 年が多いと、不安や引け目を感じずに入っていける。

#### ＜平成 30 年度に統合する場合の問題点＞

- 赤羽根中学校は受入れ側として早急なことで対応が難しい。
- H30 年度の統合では、現在の泉中 1 年生が中 3 のときに統合になる。入学当時 4 月には、統合のことは考慮されていない。
- 部活動に関する事など学校運営の調整が難しい。

#### ＜平成 31 年度に統合する場合の問題点＞

- 今の小学 6 年生が中学校に上がるまでの期間では、部活動などの課題を十分に検討するのは難しい。
- 伊良湖岬中の統合と重なり、教職員の配置などの面で厳しい状況が生じる。

◇再編検討委員会や P T A アンケート、校区説明会での意見また上記の理由など、これらのことを総合的に判断して、統合時期は平成 33 年度がベストなタイミングだと判断した。